

立体視

1 はじめに

2年生の動物の学習では、草食動物と肉食動物の体のつくりの違いを勉強します。教科書(啓林館)には、肉食動物の目は前向きについており、立体的に見える範囲が広いという説明があります。立体的に見えるとは、どういうことなのかを明確にするために、「理科」の「いろいろ」にある「飛び出すラウー 消えるサルサ」のうち、「飛び出すラウー」を使って授業をしました。

2 実践内容

(1) 準備物 飛び出すラウー (カラー印刷:人数分 赤青のメガネ:人数分)

(2) 展開 5分

- ① 飛び出すラウー (印刷物)、赤青のメガネの配布
- ② メガネは右側が赤色になるように見ます。
- ③ ラウーは飛び出してみえますか。
- ④ 右目だけで見ます。飛び出して見えますか。
- ⑤ 左目だけで見ます。飛び出して見えますか。
- ⑥ 両目で見ます。飛び出して見えますか。
- ⑦ 両目で見るから飛び出して見えます。
- ⑧ メガネをはずして見ます。絵がずれています。ずれが大きいほど手前に見えます。
- ⑨ ニンテンドー3DSを持っている人? (その多さにびっくりしました。)
- ⑩ ニンテンドー3DSは、右目で見ている画面と左目で見ている画面が違います。右目で見ている像と左目で見ている像とが少しずれています。そのずれで立体的に見えます。

3 おわりに

時間を考慮して、なぜ立体的に見えるかを詳しく説明しなかった。「両目で見ているから」に留めた。「動物の生活」の学習では、実験や観察をすることが難しい。少しでも体験できることがあればと考え、実践した。生徒たちは興味深く実験することができた。

それにしても、ニンテンドー3DSを持っている生徒の多さにはびっくりしました。